

## 技術士業務研究会／2021年（令和3年）12月度特別例会

☆開催日時：2021年（令和3年）12月10日（金） 19:00～21:30

☆開催場所：ZOOM を使った Web 例会につき、各自の PC 等でご参加願います

・開会挨拶（19:00～19:05） 部会長 細谷 陽三（金属）

1 講演（19:05～20:10）（講演 50 分、質疑応答 15 分）

『 土壤汚染対策法はホントに役立っているのか？ ー法の概要と実情ー 』（仮題）

技術士（環境部門）丸山 俊秀 氏

### 【概要】

土壤汚染対策法の目的は、「特定有害物質による汚染の状況の把握に関する措置及びその汚染による人の健康に係る被害の防止に関する措置を定めること等により、土壤汚染対策の実施を図り、もって国民の健康を保護すること」とあるが、本当に人の健康被害の防止し、国民の健康保護に貢献しているのか。

本講演では、同法令の枠組み、土壤汚染状況把握方法と健康被害を防止する措置の概要、同法制定に到る経緯を理解した上で、土壤汚染に関する主な事例、対策から同法の活用実態を解説する。

2 連絡（20:10～21:15 5分）

講演予定、例会アンケート集計と講師候補

（休憩 5分）

以下は会員が参加

3 新会員自己紹介、既会員現況報告、座談会（20:20～21:30 70分）

☆Zoom による Web 例会参加方法

①「Zoom」アプリをインストールしているカメラ・マイク・スピーカー付の PC またはスマホ・タブレットをご準備ください。

②参加者に事前に送付する招待メールにある「長い URL」をクリックすれば、会議に参加できます。

◇講演会参加費 会員：無料 非会員：無料 パスポート保持者：無料

◇申 込 下記 HP からお申し込み下さい。メールでの申し込み不可。  
業務研 HP <https://sites.google.com/site/gyoumuken/>

### 【講師経歴】

丸山 俊秀（まるやま としひで）

<生年月日、出身地>

1959年7月15日生 富山県富山市・東京都台東区

<学歴>

1982年 筑波大学第三学群基礎工学類 物質工学専攻 卒業

1984年 同 理工学研究科（無機化学研究室）修了

<職歴>

1984年 ダイセル化学工業株式会社入社 同年7月 総合研究所分析研究室配属

1986年 大竹工場異動 イソホロンジイソシアネートの用途研究

1989年 ダイセル・ヒュルス(株)（現EVONIK Ind.）出向、Marl研究所勤務

1995年 神崎工場異動 食品包装用フィルムの生産改善・新規商品の開発

2000年 廃プラガス化プロジェクト・実用化検討チーム異動

2004年 レスポンシブル・ケア室異動

用役設備（ボイラー・発電所）計画検討

GRIガイドライン2による環境パフォーマンス指標集計等の標準化・システム化

旧堺工場撤去解体工事の計画および工事監理、土壤汚染対策法による地歴調査、土壤汚染状況調査、措置工事監理

ライフサイクルアセスメントによる主要製品の環境影響評価

事業譲渡・M&Aにおける環境デューデリジェンス

環境パフォーマンス指標・廃棄物管理のシステム化（業務フロー標準化）、他

2019年 技術士登録、同年7月 株式会社ダイセルを定年

<専門分野>

分析化学、塗料・接着剤用樹脂の設計・重合、樹脂溶液のレオロジー評価、

ライフサイクルアセスメントによる環境評価、土壤汚染対策に係る地歴・汚染状況調査

<所属学協会>

日本技術士会

<資格>

技術士（環境部門）、エネルギー管理士（熱）、危険物甲種、他

<趣味>

釣り、ウクレレ演奏、プラモデル製作

以上